

国指定史跡 郡山城跡

1 本丸及び櫓台



元就による拡張後の中心地。城主の館があったと思われ、北端の山頂部には櫓台が残る

2 三の丸の石塁



中心部は輝元時代の改修により整備され、三の丸は石塁により3つに区切られている

3 三の丸下通路の石垣跡



石が散乱しているが、三の丸に入る大手道にあたり、僅かに立石も残る

4 釣井の壇の井戸跡



現在は枯れているが、城内に残る石組の井戸としては唯一のもの

5 姫の丸 (百万一心石伝承地)



本丸の北の要所。幕末に長州藩士武田泰信がこの郭で百万一心石を発見したと伝わる

6 御蔵屋敷跡



勢溜の壇と釣井の壇を繋ぐ郭。幕命により江戸初期に崩された石垣がそのまま残る

7 満願寺跡の石組の池跡



築城以前から存在する寺院跡。2ヶ所ある石組の方形の蓮池や寺の礎石などが残る

8 尾崎丸の堀切



尾崎丸は隆元が本城から移り住んだと伝わる。長大な郭の背後を堀切っている

9 本城の本丸



西端に櫓台があり、背後は谷を堀切っている。築城時の中心で、一時隆元が居住した



- 凡 例
- 旧 道
 - 登城ルート
 - 展望ポイント
 - 駐車場
 - お手洗い

